

## 台風19号の出水に備えて

～中筋川ダムでは「洪水貯留準備操作(事前放流)」を実施しています～

中筋川ダムでは、今週末から四国に接近が予想されている強い台風19号による出水に備えるため、10月7日から「洪水貯留準備操作(事前放流)」を実施しています。

※「洪水貯留準備操作(事前放流)」とは

中筋川ダムでは、台風などによる出水時に下流の被害を軽減させるため、ダムに入ってくる水を貯める洪水貯留を行います。

「洪水貯留準備操作(事前放流)」とは、今回の台風のように大雨が予想される場合、利水者の協力の下、利水容量の一部を活用し事前にダムの貯水位を通常時より低下させ、洪水貯留に使用できる容量を大きくして、台風などの出水に備えるための操作です。今年度は、8月の台風11号以来、2回目の実施となります。

平成26年 10月 7日

国土交通省四国地方整備局

中筋川総合開発工事事務所

(問い合わせ先)

国土交通省四国地方整備局中筋川総合開発工事事務所

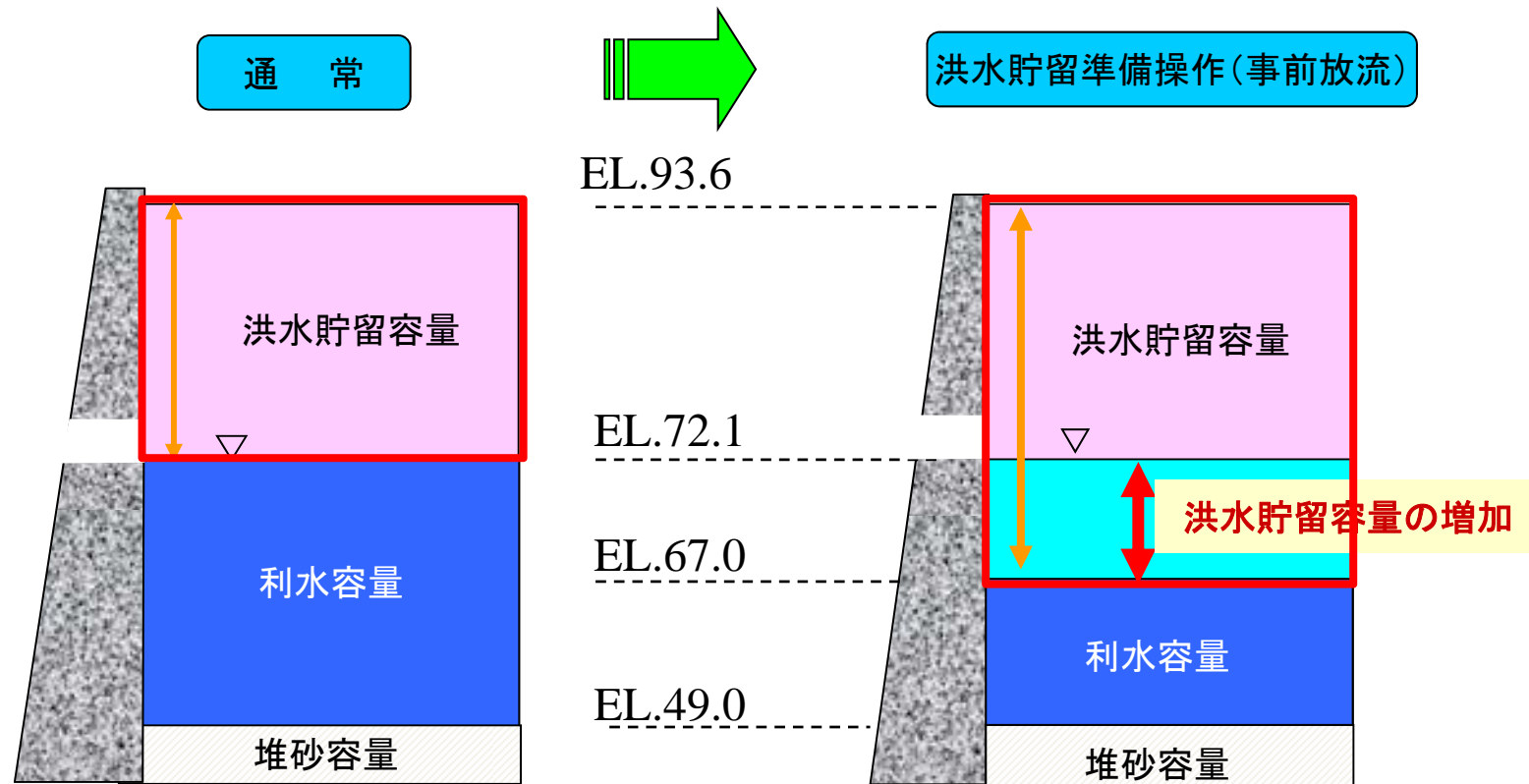
電話:0880-66-2501(中筋川ダム管理庁舎)

副所長(技術) 渡邊 健二

○管理課長 山下 正浩

## 洪水貯留準備操作（事前放流）

通常時の洪水貯留は、貯水位72.1m～93.6mの間で行いますが、洪水貯留準備操作（事前放流）を行うことにより、貯水位を最大で67.0mまで（約5m）低下させ、洪水貯留容量を増加させ洪水対応を行います。



イメージ図